

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成22年8月19日(2010.8.19)

【公開番号】特開2009-36836(P2009-36836A)
 【公開日】平成21年2月19日(2009.2.19)
 【年通号数】公開・登録公報2009-007
 【出願番号】特願2007-199017(P2007-199017)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/16 (2006.01)

G 0 3 G 21/14 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/16

G 0 3 G 21/00 3 7 2

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

像担持体と、

前記像担持体上に画像を形成する画像形成手段と、

前記像担持体上に形成された画像を担持するベルトと前記ベルトを駆動する駆動手段とを有し、前記像担持体上の画像を前記ベルトに転写し、前記ベルト上に転写された前記画像をシートに転写する転写手段と、

前記ベルトの速度変動量と、前記像担持体上の画像が前記ベルトに転写されるタイミング又は前記ベルト上の画像が前記シートに転写されるタイミングと、を検知する検知手段と、

前記像担持体上の画像が前記ベルトに転写されるタイミング又は前記ベルト上の画像が前記シートに転写されるタイミングにおいて前記速度変動量が所定の値を超える場合、前記シート上に画像が形成されないように前記画像形成手段又は前記転写手段を制御する制御手段とを備えることを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記制御手段は、前記像担持体上の画像が前記ベルトに転写されるタイミングにおいて前記速度変動量が前記所定の値を超える場合、前記ベルト上に転写された画像が前記シートに転写されないように前記転写手段を制御することを特徴とする請求項1記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記制御手段は、前記像担持体上の画像が前記ベルトに転写されるタイミングにおいて前記速度変動量が前記所定の値を超える場合、前記ベルト上の画像の前記シートへの転写が中断されるように前記転写手段を制御することを特徴とする請求項1記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記シートを搬送する搬送手段と、

前記シートの搬送速度を調整するために前記搬送手段を制御する搬送制御手段と、を有し、

前記制御手段は、前記像担持体上の画像が前記ベルトに転写されるタイミング又は前記ベルト上の画像が前記シートに転写されるタイミング以外のタイミングにおいて前記速度変動量が前記所定の値を超える場合、前記搬送制御手段は前記速度変動量に応じて前記シートの搬送速度を制御し、前記制御手段は前記ベルト上の画像が前記シートに転写されるように前記転写手段を制御することを特徴とする請求項1乃至3いずれかに記載の画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的を達成するために、本発明の画像形成装置は、像担持体と、前記像担持体上に画像を形成する画像形成手段と、前記像担持体上に形成された画像を担持するベルトと前記ベルトを駆動する駆動手段とを有し、前記像担持体上の画像を前記ベルトに転写し、前記ベルト上に転写された前記画像をシートに転写する転写手段と、前記ベルトの速度変動量と、前記像担持体上の画像が前記ベルトに転写されるタイミング又は前記ベルト上の画像が前記シートに転写されるタイミングと、を検知する検知手段と、前記像担持体上の画像が前記ベルトに転写されるタイミング又は前記ベルト上の画像が前記シートに転写されるタイミングにおいて前記速度変動量が所定の値を超える場合、前記シート上に画像が形成されないように前記画像形成手段又は前記転写手段を制御する制御手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

すなわち、搬送ベルト110の駆動手段に対して駆動速度を中間転写ベルト107のすべり量分だけ遅らせるように一時的に減速制御（搬送手段によるシートの搬送速度を制御する）して調整し（図6の搬送駆動信号参照）、トナー画像をシートへ転写する際の画像の位置ずれを防止して、装置動作を継続する。